



# BUSINESS REPORT

株主通信 第**58**期 報告書

2006年4月1日～2007年3月31日

株主のみなさまへ

普段の暮らしをより豊かに・より便利に・より楽しく

DISCOUNT STORE  
**MrMax**

証券コード 8203



代表取締役社長 平野 能章

## 株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

2007年3月31日をもって、当社第58期（2006年4月1日から2007年3月31日まで）が終了いたしましたので、ここに当期の営業の概況等をご報告申し上げます。

当期における小売業を取り巻く環境は、好調な企業収益も家計部門への波及が弱く、個人消費が伸び悩む中、業態を超えた出店競争に加え、暖冬の影響など、必ずしも楽観できる状況ではございませんでした。

当社グループはこうした厳しい経営環境の中で、ディスカウントストアの持つ「安さのイメージ」を徹底して訴求するために、圧倒的な「安さ」を少なくとも1ヶ月以上、維持し続けるPOWER PRICE商品を連続して投入する一方で、お客様にとって、お買い物のしやすい売り場環境を提供するために、売り場コンディションの向上に取り組んでまいりました。

また、昨年6月には、神奈川県藤沢市に当社最大規模のショッピングセンターを開業し、店舗集団としてのお買い物の便利さ、楽しさを地域のお客様に提供するとともに、首都圏西部におけるMrMaxの知名度向上にも努めてまいりました。

このような企業活動の結果、連結営業収益は932億6千7百万円（前期比107.5%）と増収になり、連結営業利益は10億2千5百万円（同157.2%）、連結経常利益は13億2千7百万円（同141.8%）と、ともに大幅な増益となりました。なお、当連結会計年度より、財務の健全性を保つとともに、資産の効率的運営を図るために、事業用定期借地上的固定資産と、借地権について減価

償却を前倒して実施いたしております。この減価償却期間の変更により、減価償却費が1億7千8百万円増加いたしております。前年と同じ基準での連結営業利益は12億4百万円（前期比184.6%）、連結経常利益は15億6百万円（同160.8%）であります。

また、期末決算において、土地や建物を賃借している店舗の固定資産の評価を保守的に見積もったことなどから、固定資産の減損損失9億6千3百万円を計上いたしました。この結果、連結当期純利益は2億6百万円（前期比66.1%）となりました。

当期末において計上した固定資産の減損損失額のうち、ほぼ全額に当たる9億5千6百万円が減価償却対象資産であり、将来にわたり減価償却費が減少いたします。このうち、2008年3月期における減価償却の減少額を9千1百万円と見積もっており、増収増益基調に弾みをつける結果になるものと考えております。

株主のみなさまにおかれましては、MrMaxグループの業容拡大への取り組みと、より健全な財務基盤の確立を目指す意欲的な会計姿勢に対し、ご理解をいただくとともに、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2007年6月

代表取締役社長 平野 能章

## 第58期（2007年3月期）の業績について

### 決算のポイント

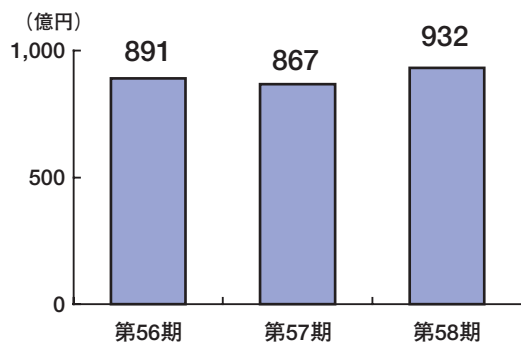
- ◆新店効果とMrMax既存店売上高が前年を上回ったことにより、営業収益は前期比7.5%増の932億円、経常利益は前期比41.8%増の13億円と増収増益
- ◆当期純利益は、固定資産の減損損失を計上し、前期比33.9%減の2億円
- ◆有利子負債を前期末に比べ、7億円削減。デットエクイティレシオは、0.79倍へ改善

### 〈営業収益・経常利益について〉

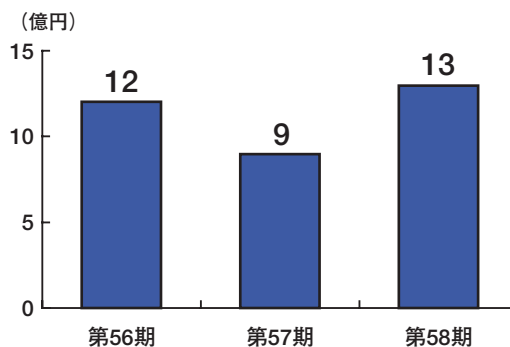
2006年6月に神奈川県1号店として開業した「MrMax湘南藤沢店」の売上高及び、「MrMax湘南藤沢ショッピングセンター」のテナント賃貸収入に加え、2006年3月に開店した「MrMax熊本インター店」の売上が通期に亘って寄与したこと、並びにスナック菓子・飲料、ゲーム機・ゲームソフト、薄型テレビなどの販売が好調で既存店の売上高が前期比100.5%となったことから、営業収益は増収となりました。

ショッピングセンターの新設や改装、また減価償却方法の変更などにより、販売費及び一般管理費は増加しましたが、営業収益が大幅な増収となったことに加え、単品管理を徹底した衣料などの荒利益率が改善したことにより、経常利益は増益となりました。

#### 営業収益（売上高＋不動産賃貸収入）



#### 経常利益



\*第57期までは、経常利益にテナント解約収入を含めて計上しておりましたが、第58期からはテナント解約収入を特別利益に計上し、経常利益には含めておりません。第58期と同じくテナント解約収入を経常利益から除外すると第56期の経常利益は8億円でした。（詳細は3ページの「会計方針の変更について」をご参照ください。

## ●会計方針の変更について

### 固定資産の減価償却の変更

「事業用定期借地権上の固定資産」と「借地権」の償却期間を変更したことにより、当期における減価償却費が、1億78百万円増加しております。これは、税法上認められた償却期間が借地期間より長い場合には、借地返還時に残存簿価の償却に係る損失が多額になることが見込まれるため、より適切な費用配分を目指し、借地期間を償却期間として、前倒しで償却を実施することにしたものです。

なお、この変更により、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ1億78百万円減少しております。

### テナント解約収入の計上区分の変更

前期までは、営業外収益として計上し経常利益に含まれていた「テナント解約収入（契約期間前のテナント退店に係る退店違約金等）」の計上区分を、当期から特別利益に変更しました。運営するショッピングセンターの大型化に伴い、経常利益の額に与える影響が大きくなったことによるものです。

なお、この変更により、経常利益が3億19百万円減少しておりますが、特別利益が3億19百万円増加しておりますので、税金等調整前当期純利益への影響はありません。

## ●減損損失の計上について

固定資産の減損損失9億63百万円を特別損失に計上し、当期純利益は、33.9%減の2億6百万円となりました。

この固定資産の減損損失計上額のうち、99.3%にあたる9億56百万円は、減価償却の対象資産であり、将来にわたって、費用計上される減価償却費が減少します。

## 連結損益計算書(要旨)

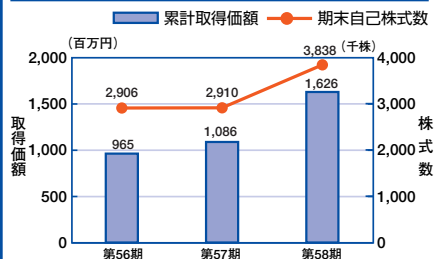
(単位：百万円・百万円未満切捨)

| 科 目          | 当 期<br>2006年4月1日から<br>2007年3月31日まで | 前 期<br>2005年4月1日から<br>2006年3月31日まで |
|--------------|------------------------------------|------------------------------------|
| <b>営業収益</b>  | <b>93,267</b>                      | <b>86,759</b>                      |
| 売上高          | 89,373                             | 83,748                             |
| 不動産賃貸収入      | 3,893                              | 3,010                              |
| 売上原価         | 70,319                             | 66,570                             |
| (売上総利益)      | 19,054                             | 17,178                             |
| <b>営業総利益</b> | <b>22,947</b>                      | <b>20,188</b>                      |
| 販売費及び一般管理費   | 21,921                             | 19,536                             |
| <b>営業利益</b>  | <b>1,025</b>                       | <b>652</b>                         |
| 営業外収益        | 623                                | 616                                |
| 営業外費用        | 321                                | 332                                |
| <b>経常利益</b>  | <b>1,327</b>                       | <b>936</b>                         |
| 特別利益         | 606                                | 27                                 |
| 特別損失         | 1,482                              | 314                                |
| 税金等調整前当期純利益  | 452                                | 649                                |
| 法人税、住民税及び事業税 | 967                                | 330                                |
| 法人税等調整額      | △713                               | △5                                 |
| 少数株主利益       | —                                  | 12                                 |
| 少数株主損失       | 7                                  | —                                  |
| <b>当期純利益</b> | <b>206</b>                         | <b>312</b>                         |

## 連結貸借対照表 (要旨)

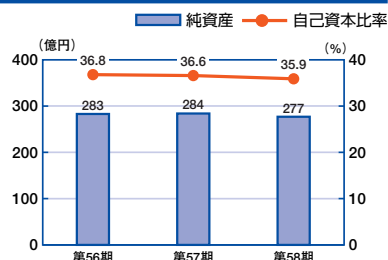
(単位:百万円・百万円未満切捨)

### ■自己株式取得の推移



当期において、自己株式は92万7千株増加し、純資産における自己株式の控除額は5億40百万円増加して16億26百万円となりました。

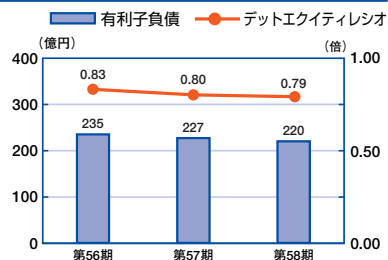
### ■純資産・自己資本比率



自己株式の買い付け、および配当金の支払等による利益剰余金の減少の結果、純資産が減少し、自己資本比率は35.9%となりました。(純資産は、自己株式を控除して計上されます。)

自己資本比率=自己資本(純資産-少数株主持分)/総資産×100

### ■有利子負債・デットエクイティレシオ



短期借入金及び長期借入金の合計(有利子負債)は220億円となり、前期末に比べ、7億39百万円削減しました。その結果、デットエクイティレシオ(純資産に対する有利子負債の比率)は、0.80倍から0.79倍へと改善しました。

デットエクイティレシオ=有利子負債/純資産×100

\*第58期から、企業会計基準等の変更を適用しております。なお、第56期、第57期の純資産、自己資本比率は、従来の株主資本、株主資本比率を記載しております。

| 科目                     | 当期<br>(2007年3月31日現在) | 前期<br>(2006年3月31日現在) |
|------------------------|----------------------|----------------------|
| <b>資産の部</b>            |                      |                      |
| 流動資産                   | 13,084               | 13,196               |
| 現金及び預金                 | 2,136                | 1,873                |
| 受取手形及び売掛金              | 927                  | 840                  |
| たな卸資産                  | 9,118                | 8,713                |
| 繰延税金資産                 | 241                  | 177                  |
| その他                    | 660                  | 1,591                |
| 固定資産                   | 63,909               | 64,302               |
| 有形固定資産                 | 49,559               | 52,483               |
| 建物及び構築物                | 19,738               | 21,748               |
| 土地                     | 28,764               | 29,730               |
| その他                    | 1,056                | 1,004                |
| 無形固定資産                 | 414                  | 1,054                |
| 投資その他の資産               | 13,935               | 10,763               |
| 投資有価証券                 | 847                  | 1,151                |
| 差入保証金                  | 5,736                | 4,498                |
| 繰延税金資産                 | 1,077                | 409                  |
| その他                    | 6,279                | 4,708                |
| 貸倒引当金                  | △5                   | △5                   |
| <b>資産合計</b>            | <b>76,993</b>        | <b>77,498</b>        |
| <b>負債の部</b>            |                      |                      |
| 流動負債                   | 25,531               | 28,893               |
| 支払手形及び買掛金              | 12,833               | 13,355               |
| 短期借入金                  | 230                  | 230                  |
| 1年以内返済予定長期借入金          | 8,080                | 10,839               |
| 未払法人税等                 | 792                  | 147                  |
| 賞与引当金                  | 408                  | 342                  |
| その他                    | 3,187                | 3,980                |
| 固定負債                   | 23,727               | 20,135               |
| 長期借入金                  | 13,690               | 11,670               |
| 退職給付引当金                | 418                  | 396                  |
| 役員退職慰労引当金              | 1,238                | 864                  |
| 預り保証金                  | 4,136                | 4,042                |
| 預り敷金                   | 3,884                | 2,883                |
| その他                    | 359                  | 277                  |
| <b>負債合計</b>            | <b>49,258</b>        | <b>49,029</b>        |
| <b>少数株主持分</b>          | <b>—</b>             | <b>68</b>            |
| <b>資本の部</b>            |                      |                      |
| 資本金                    | —                    | 10,229               |
| 資本剰余金                  | —                    | 9,953                |
| 利益剰余金                  | —                    | 9,145                |
| その他有価証券評価差額金           | —                    | 158                  |
| 自己株式                   | —                    | △1,086               |
| <b>資本合計</b>            | <b>—</b>             | <b>28,400</b>        |
| <b>負債、少数株主持分及び資本合計</b> | <b>—</b>             | <b>77,498</b>        |
| <b>純資産の部</b>           |                      |                      |
| 株主資本                   | 27,542               | —                    |
| 資本金                    | 10,229               | —                    |
| 資本剰余金                  | 9,951                | —                    |
| 利益剰余金                  | 8,988                | —                    |
| 自己株式                   | △1,626               | —                    |
| 評価・換算差額等               | 131                  | —                    |
| その他有価証券評価差額金           | 130                  | —                    |
| 繰延ヘッジ損益                | 0                    | —                    |
| 少数株主持分                 | 61                   | —                    |
| <b>純資産合計</b>           | <b>27,735</b>        | <b>—</b>             |
| <b>負債、純資産合計</b>        | <b>76,993</b>        | <b>—</b>             |

\*当期より法令改正に伴い、資本の部が廃止され、純資産の部が新設されました。

## ■ 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位：百万円・百万円未満切捨)

| 科 目              | 当期                          | 前期                          |
|------------------|-----------------------------|-----------------------------|
|                  | 2006年4月1日から<br>2007年3月31日まで | 2005年4月1日から<br>2006年3月31日まで |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 2,374                       | 3,443                       |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △1,521                      | △995                        |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △589                        | △2,342                      |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 0                           | 0                           |
| 現金及び現金同等物の増加額    | 263                         | 107                         |
| 現金及び現金同等物の期首残高   | 1,873                       | 1,765                       |
| 現金及び現金同等物の期末残高   | 2,136                       | 1,873                       |

### ● 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は、23億74百万円となりました。前期は3月に熊本インター店を開店したことなどにより増加した仕入債務が、当期は減少に転じたことなどから、前期に比べ10億68百万円減少しました。

### ● 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は、15億21百万円となりました。次期の出店にかかる予約敷金の支払いなどにより、前期に比べ支出が5億26百万円増加しました。

### ● 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は、5億89百万円となりました。ショッピングセンター開発に伴う工事立替金を回収したことなどにより、前期に比べ支出が17億52百万円減少しました。

## ■ 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円・百万円未満切捨)

| 当 期<br>2006年4月1日から<br>2007年3月31日まで | 株主資本   |       |       |        |            | 評価・換算差額等             |             |                | 少数株主<br>持分 | 純資産合計  |
|------------------------------------|--------|-------|-------|--------|------------|----------------------|-------------|----------------|------------|--------|
|                                    | 資本金    | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式   | 株主資本<br>合計 | その他<br>有価証券<br>評価差額金 | 繰延ヘッジ<br>損益 | 評価・換算<br>差額等合計 |            |        |
| 2006年3月31日残高                       | 10,229 | 9,953 | 9,145 | △1,086 | 28,241     | 158                  | —           | 158            | 68         | 28,469 |
| 連結会計年度中の変動額                        |        |       |       |        |            |                      |             |                |            |        |
| 剰余金の配当(*1)                         |        |       | △183  |        | △183       |                      |             |                |            | △183   |
| 剰余金の配当                             |        |       | △179  |        | △179       |                      |             |                |            | △179   |
| 当期純利益                              |        |       | 206   |        | 206        |                      |             |                |            | 206    |
| 自己株式の取得                            |        |       |       | △557   | △557       |                      |             |                |            | △557   |
| 自己株式の処分                            |        | △2    |       | 16     | 14         |                      |             |                |            | 14     |
| 株主資本以外の項目の連結会計<br>年度中の変動額(純額)      |        |       |       |        |            | △27                  | 0           | △26            | △7         | △34    |
| 連結会計年度中の変動額合計                      | —      | △2    | △157  | △540   | △699       | △27                  | 0           | △26            | △7         | △733   |
| 2007年3月31日残高                       | 10,229 | 9,951 | 8,988 | △1,626 | 27,542     | 130                  | 0           | 131            | 61         | 27,735 |

\*1 2006年6月の定時株主総会における利益処分項目です。

\* 連結株主資本等変動計算書の新設

法令改正により、株主資本等の変動を表す連結株主資本等変動計算書が新設されました。



# MrMaxの利益配分に関する基本的な考え方

## 配当金について

MrMaxは、配当の継続を重視しております。ここ数年、1株当たり年間10円の配当を継続しておりますが、1株当たり当期純利益を33円以上に高めることにより、配当性向を30%前後まで引下げることが目標といたしております。

## 内部留保資金の主な用途について

主として、店舗、ショッピングセンターの新設、増床、改装や、物流、仕入に関する情報システム投資、また、採用、教育、配転など組織力強化のための人材投資に活用し、業容の拡大と経営基盤の強化につなげてまいります。

また、2004年6月の株主総会決議により、取締役会の決議をもって自己株式を取得できるよう定款を変更いたしました。株主価値の維持・向上のため、機動的な資本政策を実施するよう努めております。

## 2007年3月期の株主還元について

当期末の1株当たり配当金は、1株当たり5円とさせていただきます。中間配当金5円を加え、通期の配当金は1株当たり10円となります。

また、2006年7月13日開催の取締役会において取得株数上限1百万株、取得総額上限7億円、取得期限2007年3月31日とする自己株式の取得枠の設定を決議し、当期末までに96万1千株を5億52百万円にて取得いたしました。

## 株式の状況 (2007年3月31日現在)

- 会社が発行する株式の総数 80,000,000株
- 発行済株式の総数 39,611,134株  
(注) 当期中の増減はありません。
- 1単元の株式の数 100株
- 株主数 11,362名
- 大株主 (上位10名)

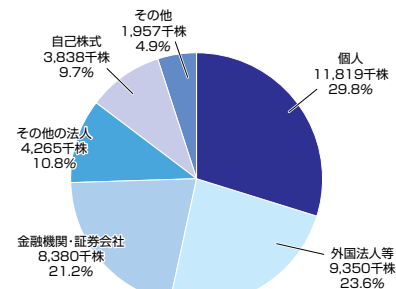
持株数 単位=千株

| 株主名                       | 持株数     |
|---------------------------|---------|
| ヒラノマネージメントビーヴィ            | 6,435.5 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口) | 2,154.8 |
| 平野能章                      | 1,917.5 |
| 有限会社 Waiz Holdings        | 1,830.0 |
| 株式会社福岡銀行                  | 1,404.2 |
| ミスターマックス取引先持株会            | 978.3   |
| MrMax社員持株会                | 965.7   |
| 平野淳子                      | 821.9   |
| 日本興亜損害保険株式会社              | 801.2   |
| 平野耕司                      | 663.6   |

(注) 1. 株式数は百株未満を切り捨てて表示しております。

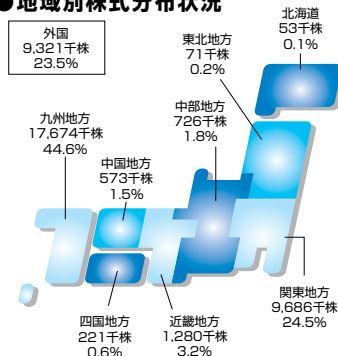
2. 当社は自己株式3,838.0千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いております。

## ● 所有者別株式分布状況



(注) 「その他」には、左表の「ミスターマックス取引先持株会」や「MrMax社員持株会」が含まれています。

## ● 地域別株式分布状況



## トピックス

### ●地デジチューナー搭載液晶テレビの発売

2006年12月に、地上デジタルチューナー搭載のオリジナル液晶テレビを発売しました。「液晶テレビをもっと身近に、より気軽に買える商品へ」というコンセプトのもと、32インチを税込89,800円、20インチを税込59,800円と1インチ当たり3,000円を切る低価格を実現しました。

国内大手メーカーの商品も売上を伸ばしており、薄型テレビの売上高は、前期比166%と引き続き好調に推移しています。



### ●プライベート・ブランドのジーンズ発売

プライベート・ブランド(自社開発商品)の1つとして、カジュアルファッションを中心に、デザインや機能を重視しながら、安さを実現する「SELF STYLE」の開発に取り組んでいます。2007年1月から、レディース・ジーンズをリニューアルしました。股下補正済みで、股下3サイズから選べる便利さ、ストレッチ素材のはきやすさが好評です。税込1,980円で販売しています。



### ●両立支援・女性社員の活用への取組み

「社員にとって、もっと働きやすく、また女性社員がもっと活躍できる職場環境づくり」を目指し、2006年6月に、女性6名からなる社長直轄のプロジェクトチーム「TWINGプロジェクト」を結成しました。出産・育児に関する規定や制度の周知活動、相談窓口の設置や、管理職者への両立支援研修の実施、両立支援・育児支援制度の拡充などを行っております。「社員一人一人の幸せは、会社の活力」という思いのもと、今後も社員が安心して働き、十分に能力を発揮できる、活気ある職場づくりに取り組んでまいります。

#### 【 プロジェクト名の由来 】

「TWING」とは、「TWIN=対」と「WING=羽」を組み合わせた造語。仕事と家庭を一对の翼に見立て、社員一人一人が、その両翼を羽ばたかせ、充実した人生を送って欲しいという思いを込めています。



### ●パート・キャリア・パス・プラン

パートタイマーの活用に向けて、「パート・キャリア・パス・プラン」を導入しています。個人ごとに目標を決め、教育と評価を繰り返す行い、身につけた能力に応じて、公平な評価のもと、時給が上昇するという制度です。より高い能力を発揮し、より大きな責任を担うパートタイマーを増やし、生産性のさらなる向上を図ります。また、パートタイマー自身にも、より強いやりがいを感じてもらうことで、雇用確保にも努めてまいります。



## プライベート・ブランド商品 開発担当者インタビュー

皮むき  
甘栗  
(200g)

税込**198**円



MrMaxでは、「安さ365日。」をプライス・ポリシー（価格政策）に掲げ、特売日だけ安いのではなく、毎日いつでも安い価格でお買い物を楽しんでいただけることを目指しております。その施策の1つとして、自社開発商品（プライベート・ブランド）づくりに取り組んでおります。

2006年10月の発売以来、既に50万個以上を販売して大ヒット商品となったプライベート・ブランド商品「皮むき甘栗」の開発担当者の声をお届けします。

### Q 「皮むき甘栗」を開発しようと思ったキッカケは？

皮むき甘栗は、これまで小さな容量の商品を、季節商品として秋のみ販売していましたが、昨年の春、徳用サイズを実験的に販売したところ、用意した10,000個を2週間で完売し、「これは通年商品として、やっていける」と手ごたえを感じました。

### Q 商品開発でこだわったところは？

市場に出ている輸入甘栗より「もっとおいしく」というコンセプトのもと、栗の名産地として知られる、河北省遷西<sup>せんさい</sup>県産と山東省産の中でも厳選した良木から収穫した栗を使用し、糖度も自社基準を設け、品質管理を行っております。栗本来の「力強い甘味」と「濃厚な旨み」をお楽しみください。



商品本部 商品第三部  
食品担当バイヤー 鳥越 寛

表紙の  
プライベート  
ブランドの  
ご紹介



玉露入お茶缶  
烏龍茶缶  
各340g  
税込¥**29**/1缶



健康黒酢ドリンク各種各1L  
(はちみつ黒酢・  
りんご黒酢・  
バナナ黒酢)  
税込¥**198**/1本



重曹 5kg 環境にやさしい!!  
税込¥**798**



カラーボックス  
3段(ワイド)  
クラフト  
ボックス1個  
税込¥**798**



アルカリ乾電池  
単3形 20本組  
税込¥**448**  
単4形 16本組  
税込¥**399**



ステンレスペダルペール 1.2L  
税込¥**1,478**



ステンレステーブルポット 1.2L  
税込¥**998**



コードレススチーム  
アイロン  
税込¥**2,978**



カラーボックス  
3段(ワイド)  
クラフト  
ボックス1個  
税込¥**798**

この他にも、プライベート・ブランドのおすすめ商品を当社ホームページに掲載しております。

<http://www.mrmax.co.jp/private>

## 一株主様アンケート集計結果のご報告

### アンケートにご協力いただきありがとうございました。

前回の株主通信(第58期中間報告書)においてアンケートをお願いいたしましたところ、1,563名(回収率13.2%)の株主様からご回答をお寄せいただきました。ご協力いただきました皆様に心から御礼申し上げます。今回のアンケート結果、ご意見をふまえ、今後のIR活動の充実に活かしてまいります。

なお、アンケートにご回答いただいた方の中から、厳正な抽選の上、300名の方に弊社プライベート・ブランド商品を発送させていただきました。

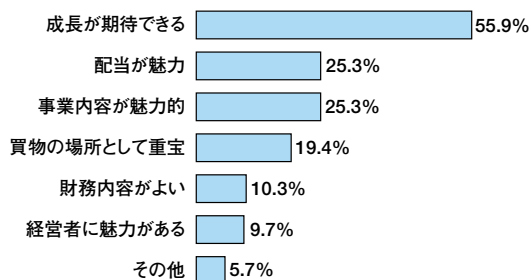
ここでは、アンケートの集計結果の一部をご報告申し上げます。

#### 調査概要

- 調査対象 2006年9月末現在の株主様11,831名
- 調査期間 2006年12月4日～2007年1月10日

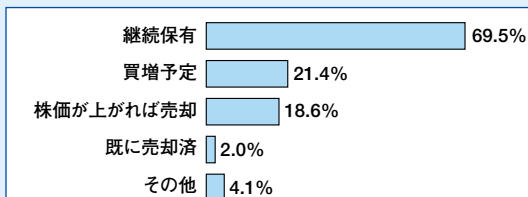
#### Q.当社をどのように評価されていますか？

(複数回答可)



#### Q.今後の当社株式についてどのような方針をお持ちですか？

(複数回答可)



#### ご意見・ご要望の一部ご紹介

##### (株主優待について)

・株主優待制度(商品券やプライベート・ブランド商品の送付等)を実施してほしい。

→当社は配当の継続を重視しており、会社の経営成績及び今後の見通し等を総合的に勘案しながら、安定配当の実現に努めてまいります。6ページに、利益配分に関する考え方を掲載しています。

##### (店舗出店について)

・早く店舗を、全国展開してください。  
・近くにお店がなく実際にみたことがないので、いつかぜひ行ってみたいです。株主通信のお店紹介はとても魅力的です。

→2007年7月には、東京都町田市に都内初出店となる町田多摩境店がオープンいたします。今後も、多くの方々に、MrMaxができてよかったと満足していただけるよう、積極的な出店展開をしてまいります。

##### (商品開発について)

・プライベート・ブランド商品の充実で、他社との差別化を希望します。  
・オリジナル液晶テレビのように目玉商品をたくさん出してほしい。

→お客様の日常生活に欠かせない商品をも、毎日低価格で商品を提供したいと考えております。そのための取り組みの1つが商品を自社で企画開発するプライベート・ブランド商品づくりです。今後も、品質と価格のバランスが優れた商品開発に努めてまいります。7～8ページに、プライベート・ブランドの一部を紹介しています。

## 会社概要 (2007年3月31日現在)

- 社名 株式会社ミスターマックス
- 創業 1925年10月
- 設立 1950年12月
- 資本金 10,229百万円
- 従業員数 722名
- 本部所在地 〒812-0064  
福岡市東区松田一丁目5番7号  
電話 092-623-1111(代表)  
ホームページ <http://www.mrmax.co.jp/>

## 役員 (2007年6月28日現在)

|                        |       |
|------------------------|-------|
| 代表取締役社長                | 平野能章  |
| 常務取締役(管理本部長兼総務部長)      | 樋口一夫  |
| 常務取締役(開発本部長)           | 小田康德  |
| 常務取締役(営業本部長)           | 佐藤昭彦  |
| 取締役(商品本部長)             | 吉田康彦  |
| 取締役(物流部長兼業務システム部長)     | 石田富英雄 |
| 取締役(経理本部長兼財務部長兼組織開発部長) | 中野英一  |
| 常勤監査役                  | 松本淳   |
| 監査役                    | 鹿毛齊   |
| 監査役                    | 狩野仁   |

## 店舗一覧 (2007年3月31日現在)

### 関東地区 (7店)

#### 神奈川県

湘南藤沢店 (0466-35-7777)

#### 千葉県

新習志野店 (047-408-1160)

千葉美浜店 (043-302-0381)

おゆみ野店 (043-300-5505)

#### 群馬県

太田東店 (0276-20-2550)

倉賀野店 (027-346-8181)

伊勢崎店 (0270-26-8181)

### 中国地区 (8店)

#### 広島県

神辺店 (084-963-7711)

八本松店 (082-428-7633)

#### 山口県

柳井店 (0820-23-8880)

末武店 (0833-41-5200)

山口店 (083-921-8300)

宇部店 (0836-58-1000)

小野田店 (0836-84-8500)

綾羅木店 (0832-55-4300)

### 九州地区 (27店)

#### 福岡県

長住店 (092-551-2345)

野芥店 (092-863-2345)

橋本店 (092-811-6800)

土井店 (092-691-7111)

白水店 (092-501-2000)

大野城店 (092-591-1800)

粕屋店 (092-623-1001)

新宮店 (092-963-5010)

宗像店 (0940-32-8111)

本城店 (093-692-5500)

八幡西店 (093-618-7733)

富野店 (093-522-1777)

久留米インター店 (0942-45-7300)

大牟田店 (0944-43-2500)

飯塚花瀬店 (0948-21-0123)

田川バイパス店 (0947-46-1011)

#### 佐賀県

佐賀店 (0952-41-6300)

北茂安店 (0942-89-1550)

#### 長崎県

長崎店 (095-818-1110)

#### 熊本県

熊本南店 (096-311-2555)

熊本インター店 (096-380-7788)

山鹿店 (0968-43-8800)

松橋店 (0964-32-4111)

#### 大分県

中津店 (0979-23-2345)

佐伯店 (0972-23-6511)

宇佐店 (0978-34-9770)

#### 宮崎県

日向店 (0982-53-5251)

## 株主メモ

|            |   |   |
|------------|---|---|
| 事業年度       | 4月1日～翌年3月31日まで  | 株主名簿管理人<br>東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社  |
| 定時株主総会開催   | 6月  | 同事務取扱場所<br>東京都千代田区丸の内一丁目4番5号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部                                 |
| 基準日        | 定時株主総会の基準日 3月31日  | (同送付先)<br>〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話(通話料無料) 0120-232-711 |
| 配当金受領株主確定日 | 期末配当金 3月31日 中間配当金 9月30日   | 同取次所<br>三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店  |
| 1単元の株式の数   | 100株  |   |
| 公告掲載方法     | 電子公告により、当社ホームページ( <a href="http://www.mrmax.co.jp/">http://www.mrmax.co.jp/</a> )に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 |   |

### 配当金のお受取りは、 便利な「口座振込」をおすすめします。

配当金のお受取りは、次のいずれかをご利用いただけます。

- ・郵便貯金口座への振込み
- ・銀行預金口座への振込み
- ・郵便振替支払通知書によるお受取り

「口座振込」をご利用いただくと、配当金の受取忘れや、郵便振替支払通知書の紛失などのご心配がなくなり、安全、確実に配当金をお受取りいただけます。

「口座振込」によるお受取りには、あらかじめ「配当金振込指定書」のご提出が必要となりますので、ご希望の方は、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部へお申し出ください。

### 単元未満株式(100株未満の株式)を お持ちの株主様へ。

当社の株式は100株が1単元(最低売買単位)となっておりますので、単元未満株式(100株未満の株式)については市場で売買することができません。

現在当社では、単元未満株式について、以下の買増及び買取制度を行っております。

#### ■単元未満株式の買増制度

株主様がお持ちになっている単元未満株式と合わせて1単元(100株)となる数の株式を、当社が市場価格にて株主様に売却いたします。

#### ■単元未満株式の買取制度

株主様がお持ちになっている単元未満株式を、当社が市場価格にて買取いたします。

※単元未満株式の買増及び買取のお手続きをご希望の方は、下記の三菱UFJ信託銀行株式会社証券代行部へお問い合わせください。

## 株式事務に関するお問い合わせ・郵便物送付先

〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
電話(通話料無料) **0120-232-711**

**お手続き用紙のご請求は、電話(音声自動回答)およびインターネットでも24時間承っております。**

電話(通話料無料) **0120-244-479**(本店証券代行部) **0120-684-479**(大阪証券代行部)  
インターネット <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

保管振替制度をご利用  
の場合は、株券を預託  
されている証券会社等  
にお問い合わせください。